

令和7年

(一社)全国LPガス協会 山田耕司会長 年頭所感

あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

新しい年が、LPガス事業者及び関係者の皆様にとって、輝かしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日の能登半島地震を始め、台風、大雨等の災害が多く発生し、各地に大きな被害をもたらしました。被災者の方々に改めて衷心よりお見舞い申し上げます。

また、昨年は、わが国においては、解散・総選挙、少数与党である石破政権の発足、海外においては、アメリカ大統領選挙の結果によりトランプ政権発足決定や中東情勢の緊迫化など様々な出来事があり、その余波を今年まで及ぼした年でした。

経済関係に関しては、長年の課題であったデフレ脱却の兆しが見える一方、引き続き、物価高騰や急激な円安の進行など国民生活や経済活動に大きな影響があった年でした。

このように、社会経済情勢について、先行きが不透明なまま新たな年を迎えることになりました。

そうした状況の中で、LPガス業界では、安定供給に万全を期すとともに、令和4年来、物価高騰対策として、LPガスをご利用いただいているお客様の負担軽減を図るため、要望してまいりました、地方創生臨時交付金を引き続き活用できることになりました。本年も、引き続き社会経済情勢等を注視し、その時々課題に対し適切に対応してまいります。

また、取引関係では、国において取引の適正化・料金の透明化に向けた制度改正が昨年4月に行われ同年7月には過大な営業行為の制限と賃貸住宅への入居希望者にLPガス料金の事前情報提供について施行されました。さらに本年4月には三部料金制に一本化となるとともに、賃貸住宅の料金には、消費設備料金の計上が禁止されます。

取引適正化・料金の透明化に向けた新制度の全面施行となる本年は、行政、

不動産関係者と連携を深めつつ、商慣行是正に取り組み健全な取引の徹底を図ってまいります。

保安面に関しては、5年計画で推進しています「LPガス安心サポート推進運動」が、4年目となります。

その中で、全国目標に掲げております、年平均での死亡事故1件未満及び人身事故25件未満の達成に向け、都道府県LPガス協会を通じて、LPガス販売事業者と連携を密にし、取り組んでいただいておりますので、引き続き、お客様にLPガスを安全・安心にご使用いただくために、ご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

需要拡大面に関しては、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、S+3Eの達成の一環としてCO₂削減に有効な高効率機器のエネファーム・エコジョーズ・ハイブリッド給湯器・GHP等の販売推進及びLPガスの配送合理化・LPWAの推進、並びに都道府県LPガス協会が実施する需要開発推進運動への協力を行っていくとともに、元売りやガス機器メーカー等と連携して、グリーントランスフォーメーション(GX)に向けた対応を図ってまいります。

また、全国の公立小中学校の避難所となる体育館等に停電時にも稼働可能なLPガスによるGHPエアコン(冷暖房)の普及、並びに公的避難所・医療施設・福祉施設等の防災拠点等に、LPガスの常設・常用を推進していくことが肝要となりますので、引き続き都道府県LPガス協会を通じて、地方自治体への働きかけをお願いいたします。

LPガススタンドに関しては、全国のLPガススタンドのインフラ網を維持するため、災害時にも活躍する「LPガス自動車の普及促進」の一環として、行政機関・輸送会社等に対して、災害時やエネルギーセキュリティ一面からもLPガス自動車の一定割合の導入促進や主要ユーザーであるタクシー業界へカーボンニュートラル対策も含めた導入促進のため働きかけを行ってまいります。

以上の他にも、LPガス業界として取り組んでいくべき課題は多数ありますが、お客様に選ばれるエネルギーになるために、課題解決に向けて邁進してまいります。

つきましては、本年も皆様より、一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、並びに事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

以上